

事業名	芸術文化推進事業費			調査番号	10
細事業名	山梨県芸術文化協会事業費補助金	財務コード	284304		
担当部課室	県民生活 部 生涯学習文化 課 芸術文化振興 担当 (内線)	1660			

事業の概要			
実施期間	始期 H11 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(山梨県芸術文化協会)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	山梨県芸術文化協会 県民	当該団体の行う芸術文化事業が活発に行われている 文化芸術に触れる機会が増加している	芸術文化の振興と県民文化の高揚
内容	事業概要: 県内の芸術文化各分野の自主活動の強化促進と連絡協調を図り、その発展を助長するとともに、芸術文化の振興と県民文化の高揚に資する事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付 補助先: 山梨県芸術文化協会 補助対象事業: 芸術文化講習会、指導者派遣事業、機関誌の発行 補助率: 定額		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)								
区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	事業実施回数	目標	61	61	61	61	61	65
	・芸術文化講習会 4回/年	実績(見込)	61	68	63	68	53	
	・機関誌の発行 2回/年	達成率	100.0	111.5	103.3	111.5	86.9	
	・指導者派遣事業 55回/年	達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位: 千円			986	946	894	960	990	900

事業の評価(平成27年度の業績評価)	
活動指標	b
成果指標	評価 指導者育成に向けた講演会や模擬レッスン等を計画的に開催し、各部門指導者の指導力向上につながっている。子どもたちに文化芸術に触れる機会を提供している「指導者派遣事業」では、「またやってみよう」「経験してみよう」「やり方がよくわかった」等の報告があり、子どもたちの文化芸術に対する意識を高めることができている。各事業とも事業成果はあったと判断できる。

・活動指標、成果指標の達成率、から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)	
判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い 説明 <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(補助事業として実施されている事業が、「文化芸術振興ビジョン」における施策展開のための事業としての位置づけがある)	説明 H26策定の「文化芸術振興ビジョン」において、文化芸術を育てる事業として、補助対象事業である「指導者派遣事業」が位置づけられている。学校等に多岐に渡る文化芸術分野の講師を派遣して指導等を行う当該事業は、県内民間では芸術文化協会と同等の分野を網羅する団体が他になく、県外事業者が実施した場合は、現状予算での事業実施は困難であるため、引き続き補助し、事業実施を促すことが適当。なお、「文化芸術振興ビジョン」は、総合計画 第4章において、まなび・子育て環境創造プロジェクト関係の部門計画としての位置づけがある。
	有効性(成果向上) 判定 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない 説明 補助事業中、「指導者派遣事業」の実施回数を増加させることで、総合計画・文化芸術振興ビジョンにおける、文化芸術を支える人材の育成の成果向上が可能。
見直しの余地 判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない 説明 <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他( )	
	説明 文化芸術を担う人材を育成するために、文化芸術に触れる機会を提供する「指導者派遣事業」の回数を増加させる等、補助事業体系の見直しが必要

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)	
実施方法等の変更	説明 指導者の資質向上を図る「芸術文化講習会」については、これまでの事業実施により資質向上が図られていることから事業費を縮小し、「指導者派遣事業」については、文化芸術を担う人材育成をさらに推進するため、実施回数を増やす。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。